

2年生 「色と形」

1. 授業の実践記録

(1) 英語を用いて主体的にコミュニケーション活動に取り組むための工夫（仮説1）

【学習形態の工夫】

- ・自信をもって活動し達成感を味わわせるように、ICTを活用したペア活動や全体での発表を取り入れた。

(2) 相手のことを考えて、自分の思いや考えを豊かに表現するための工夫（仮説2）

【言語活動の工夫】

- ・クリスマスツリーを作るという目的意識を友達と共有し、必然性のある言語活動を設定した。

《活動の様子》



A red circle please.
OK.



S1:この形は英語でどの
ように言うのかな。
S2:rectangleだよ。

《クリスマスツリーを作った児童の作業画面》



2. 指導の結果と考察 ○成果 ●課題

(1) 英語を用いて主体的にコミュニケーション活動に取り組むための工夫（仮説1）

- クリスマスツリーを作るという目標が児童の興味関心を高め、友達に飾りとなる色や形を伝えたいと思わせる必然性のある場面設定であった。
- 完成されたものを見ることで、活動のゴールが明確になり、色と形を使ってクリスマスツリーを作る意欲を高めることができた。
- ICTを活用したことで、クリスマスツリーを作る作業に意識が向いてしまい、言語活動が少なくなってしまった。

(2) 相手のことを考えて、自分の思いや考えを豊かに表現するための工夫（仮説2）

- ペアで活動したことで相手意識が高まり、友達と協力して英語活動に取り組む姿が見られた。
- クリスマスツリーを作るために、自分の思いをもって英語を使おうとしていた。
- 今後、伝え方について繰り返し練習したり、ALTにアドバイスをもらったりと、児童が安心して学べる手立ての工夫をしていきたい。